

最大接合温度 150°Cを提供する 500kHz、1.4A、36V 降圧 DC/DC コンバータ

2005年8月2日、リニアテクノロジーは、LT1936のHグレード・バージョンの販売を開始しました。

LT1936は1.9Aパワースイッチを内蔵した電流モードPWM降圧DC/DCコンバータで、熱特性が改善された小型8ピンMSOPパッケージで供給されます。Eグレード・バージョンとIグレード・バージョンの最大接合温度が125°Cであるのに対し、Hグレード・バージョンは最大150°Cの接合温度で動作します。Hグレード・デバイスは150°Cの最大接合温度で動作することがテストされ保証されており、高い周囲温度にさらされる車載アプリケーションや産業用アプリケーションに最適です。

LT1936は入力範囲が3.6V~36Vと広いので、非安定化ACトランス、24V産業用電源、車載バッテリーなどの様々な電源を安定化するのに適しています。LT1936は、車載「コールドクランク」状態に必要なサブ4V入力でも容易に動作可能なので、車載アプリケーションに適しています。500kHzの動作周波数により、小型で低コストのインダクタやセラミック・コンデンサを使用できるので、出力リップルが低く予測可能です。

LT1936HMS8Eは熱特性が改善されたMSOP-10パッケージで供給され、1000個時の参考単価は420円(税込み)からです。

LT1936Hの特長

- 最大接合温度: 150°C
- 広い入力電圧範囲: 3.6V~36V
- 全入力範囲にわたる短絡保護
- 保証された最小スイッチ電流: 1.9A
- 7V~36Vの入力から3.3V/1.4Aを供給
- 調整可能な出力電圧: 最小1.20V
- 500kHzの固定周波数動作
- ソフトスタート
- 小型のセラミック・コンデンサを使用
- 内部または外部補償
- 低いシャットダウン電流: 2μA以下
- 熱特性が改善された8ピンMSOPパッケージ

以上